

URコムシステム



UR倶楽部
川越かわつる
川崎美枝施設長

独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)の子会社・URコムシステム(東京都新宿区)は3月1日、短時間のリハビリ型デイサービス「UR倶楽部川越かわつる」を埼玉県川越市で開設し、同社として初めてとなる介護事業をスタートさせた。

URがりハ型デイ 九州・関西・東海にも新設予定

▲施設の外観



体が高齢化し、様々な対策が考えられているが、UR関連の団地だけで約2000戸ある川鶴団地でも同居高齢者および高齢者夫婦のみの世帯が増え続けており、大きな問題となっている。

同社ではそのような高齢者の引きこもりを防止し、更にはコミュニティの再生・活性化を図るため介護事業を開始した。デイサービスの定員は10人、「リハトレーナー」(販売・サロンオールディーズ/東京都中央区)を使用したリハビリがメニューの中心となる。内蔵されている東京都老人総合研究所考案の高齢者向け運動理論に基づくプログラムで身体をバランス良く鍛えられ、利用者個々の負荷を自動調整し、トレーニングをどれだけスムーズに行えたかも把握できる点などを評価した。各マシンに付いた液晶モニタには、トレーニングの回数やセット数などが表示されるため、利用者も意欲的にトレーニングに励むことができる。更にエアロバイクやトレッドミルも併用し、理学療法士の川崎美枝施設長を中心とした個別のケアも加えリハビリ効果を高めていく方針だ。

「UR倶楽部川越かわつる」は、UR都市機構が土地画整理事業で開発した川鶴団地付近の商店街に店舗を構える。日本の団地全

「リハトレーナー」中心のトレーニングに個別のケアも加えリハビリ効果を高めていく



▲「リハトレーナー」中心のトレーニングに個別のケアも加えリハビリ効果を高めていく